

日本博物館協会

令和5年度 第1回研究協議会 開催のご案内

「新収蔵庫棟と資料のデジタル化を通じた標本の整備と活用」

(現地開催・施設見学と実演)

収蔵資料の保存管理と活用は博物館の最も重要な機能であるにも関わらず、収蔵容量や保存環境などの課題は深刻で、21世紀の博物館の最大の課題は収蔵庫とされています。一方で、収蔵されたコレクションの活用には、保存科学技術に基づく適切な管理と、デジタル化の推進によるデジタルアーカイブの構築が、クルマの両輪として機能することが求められています。

今回の研究協議会では、展示機能を持つ収蔵施設として「コレクションナリウム」を開設し、併せて資料のデジタルアーカイブ化に取り組む兵庫県立人と自然の博物館の事例を取り上げ、今後の収蔵庫のあり方とともに、コレクションのデジタル化による博物館資料・情報の共有と活用のあり方を考えます。プログラムでは、収蔵庫の設計において留意すべきことや課題とともに、博物館資料（植物標本）のデジタル化による活用について、講義と見学、実演による体験ワークショップも開催し情報の共有を図ります。

博物館の職員をはじめ、広く関係者やご興味ある皆様のご参加をお待ちしております。

- ・日 時：令和6年2月23日（金・祝） 11：00～16：45
- ・主 催：日本博物館協会
- ・共 催：兵庫県立人と自然の博物館 / NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク
- ・会 場：兵庫県立人と自然の博物館（兵庫県三田市弥生が丘6）
- ・対 象：日博協会会員、博物館関係者 他
- ・参加費：日博協会会員館の職員：2,000円 / 非会員・一般：3,000円
(兵庫県立人と自然の博物館の観覧料を含む)
※参加費は、当日会場受付にて現金でお支払いください。
- ・定 員：30名（事前申込み制、定員に達し次第締切）
※下記 URL の参加申込フォームから登録してください。

<https://forms.gle/jq4Lo5AFZYxoMJdX6>

【プログラム】

- 11：00～11：10 開催挨拶・趣旨説明
- 11：10～12：00 講演1：三橋弘宗（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）
「新収蔵庫棟コレクションナリウムの設計コンセプトと運営について」
(昼休憩)
- 13：00～13：50 施設見学（コレクションナリウムを中心に）
(休憩10分)
- 14：00～15：00 講演2：高野 温子（兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員）

「植物標本 60 万点の引っ越しと、デジタル化を含めた新しい
標本整理法の導入」

(休憩 10 分)

● 15 : 10 ~ 16 : 30 ワークショップ :

「クラウド型自然史標本整備と活用ツールの使い方について」

* 希望される方は、実際にパソコンを持参していただければ操作できます。

① 標本画像をクラウド上に登録して AI による自動読み取りと編集作業を行います。

② 既存配信されているマルチメディア画像 (YouTube, Sketchfab, 高精細画像)
を組み合わせることで展示用補助コンテンツをつくります。

* 文化庁イノベートミュージアム事業により開発したシステムを用いて実習します。

● 16 : 30 ~ 16 : 40 質疑応答

● 16 : 40 ~ 16 : 45 閉会挨拶

【お問合せ先】

日本博物館協会事務局

TEL ; 03-5832-9108

E-mail : webmaster@j-muse.or.jp